

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 3月 12日				事業所名 療育支援 サカセル伊万里教室		
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パーテーションを使用しカームダウンのスペースを確保しています。	定員10名に対し指導訓練室の面積が63.12㎡と基準を満たしているが、室内での活動の内容によっては手狭に感じることもあるため、できる範囲で改善していく予定です。
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		室内は段差も少なくフラットだが、トイレには手摺がないため設置を検討しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			公式ホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	これまで実施しておりませんでした。今後は必要に応じて検討していく予定です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		室内で行える活動として月ごとに製作を取り入れ、プログラムが固定化ないようにしています。	コロナウイルスの影響によりイベントに制限がかかり、定期的には行えておりませんが、今後の状況を見守りつつ可能な範囲で幅を広げていく予定です。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			利用人数や利用時間を考慮して、平日・休日・長期休暇とそれぞれスケジュールを決めています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している			○	これまでサービス担当者会議は実施されていないが、開催される場合は積極的に参加したいです。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○	これまで医療的ケアが必要なお子様の利用はないが、今後は必要に応じて体制を整えていく予定です。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			○	これまで保護者様からの情報のみであったが、今後は保護者様の了承を頂いたうえで関係機関との連携に努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○	障がい者就労継続支援A型事業所を運営しているため、社内の情報共有と連携体制は整っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			○	専門機関との連携の体制が整っていないため、研修の機会がある場合は積極的に参加し、体制を整えていきたいと考えています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	外出時に施設見学などの活動を通して、障がいのないお子様とふれあう機会はあるが、個人情報やプライバシーの問題もあり、計画的には設けていないため、今後は保護者様のご意向をもとに検討していく予定です。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している			○	以前は3か月に一度開催されていたが現在は休止しているようなので、再開される場合は積極的に参加する予定です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○	個別に相談を受けた場合は、アドバイス等の対応をさせていただいています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	過去に一度、保護者様にもご参加いただけるイベントを実施しましたが、日程調整等の課題が残ったため、今後は前回の反省を踏まえて再検討し、実現に向けて努めてまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	個人情報やプライバシーの観点から実施していないが、必要に応じて保護者様のご意向をもとに検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している			○	策定し職員間で共有しているが、保護者様への周知は行えていないため、今後機会を設けて周知していく予定です。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			半年に1回(2月・8月)実施しているが、通常の避難訓練に加えて、原子力屋内退避訓練も年1回実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている			○	虐待防止マニュアルを職員間で共有していますが、今後外部研修への参加も検討していく予定です。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			重要事項説明書に記載されており、契約時に保護者様へご説明を行っているが、これまで該当する方の利用はありません。今後対象の方の利用がある場合は都度検討を行い、サービス計画に反映させてまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			○	契約時に確認を徹底しており、これまで食物アレルギーのお子様の利用はないが、今後は必要に応じて適宜対応していく予定です。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有しており、再発防止に努めています。